

北海道旅行記 その 12 (その 1)

2014.6.15

今日はいよいよ最終日。余市と小樽の観光をユックリする。昨夜の宿は広い部屋の個室・朝食付きで4500円。北海道の宿は安いので助かる。朝から小雨が降ったりやんだりして8:15に出かけるころになったら、止んだ。昨日も行った余市町へ、旧余市福原漁場は鯊漁の歴史・漁法・鯊の加工等詳しく保存・展示された貴重な国指定史跡。見ごたえがあり、1時間以上見物する。次は旧ヨイチ運上家。これも国指定史跡、国指定重要文化財で交易・ニシン漁関係の資料が保存されている。次はよいち水産博物館へ。

国指定旧余市斑福原漁場



文書庫



ニシン漁などの漁労具や生活用品、アイヌ民族の資料などが展示されていました。余市町歴史民俗資料館も併設されていて、出土した土器などが展示されていました。街中に「柿崎商店」に寄って買い物。東京のYさんのお奨めのお土産・水産品の店だけあって繁盛していた。フゴッペ洞窟にも寄る。

主屋内部



ナヤ場・ミガキニシンを作った



石蔵



昔の絵本



大船頭



漁夫の晩酌



上役



国内最大級の刻画のある洞窟遺跡で沢山の岩面刻画が彫られていた。13:00からは小樽市総合博物館・同運河館・小樽運河を見物、17:30過ぎに小樽港フェリーターミナルに到着、19:30発の新潟港行きに乗船しました。その模様は(その2)に掲載します。(写真が多くなるので)